

伊賀市の文化財 45

参宮講看板

県指定有形民俗文化財

江戸時代になると、街道や宿場が整備され、比較的安いに旅ができるようになり、庶民にも旅をする余裕が始められました。また、当時信仰の旅が認められていて、伊勢の御師が組織的に庶民層へ働きかけ、伊勢神宮への参拝を広めたこともありました。このことにより「伊勢講」と呼ばれる伊勢参宮を目的に組織された集団が講中でお金を積み立て、くじなどによって代表を選び、伊勢へ代参させていました。また、近い地域では絵参りも行われていました。

大阪や京都からの参宮客は、大和の長谷から阿保・伊勢路を経て青山峠の難所を超え一志郡垣内村へ出たことから、阿保の「たわらや」や伊勢路の「大和屋」などの街道沿いの宿屋は賑わいを見せていました。

各講では、道中で泊まる定宿を決めており、宿屋には講の名前を記した板の看板が置かれ、宿屋との契約のしるしとしていました。

指定されている講看板は、「たわらや清右衛門」という宿屋に残っていたもので、大きささまさまな大きさがありますが、平均縦60cm、横30cm、厚さ3cm程度のケヤキ材でできており、上方に印、下方に講名・地名などが深く

彫られ、字を浮き上がらせており、金や黒の絵具などで彩色しその上に漆がかけられています。

年号が記されたものもあり、寛永2年（1625）から明治29年（1896）までのものがあります。当時の阿保宿の賑わいを示す民俗資料として貴重なものです。

昭和45年2月25日に、たわらやに保管されていた参宮講看板69枚が三重県の指定を受け、現在は平成17年にオープンした「初瀬街道交流の館たわらや」において、展示と保管が行われています。

生涯学習課文化財係

☎ 22・9681 FAX 22・9691

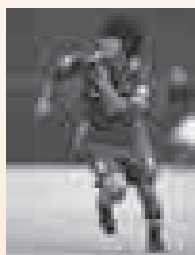


▲『参宮講看板』

今シーズンにかけた思い！

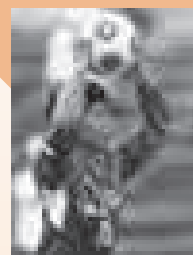
背番号 12 MF
鈴木 綾選手！！

組立やアシストだけでなく積極的にシュートを打ち点に絡みたい。気持ちの伝わるプレーがしたい。



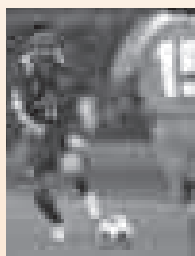
背番号 16 DF
永留 かおる選手！！

2部でのリーグ優勝で1部昇格、その為に、自分の持っているもの、経験したことを日々の練習で若いコ達に伝えます。



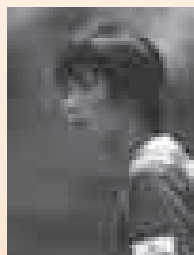
背番号 14 DF
佐藤 愛選手！！

この歴史あるチームを復活させるためにも、精一杯頑張りたいと思います。



背番号 11 FW
大歯 裕子選手！！

昨年の悔しい気持ちを忘れずに、L1昇格目指して全力で頑張ります！！



背番号 15 MF
松長 朋恵選手！！

勝利へ執着し、苦しいときでも冷静に自分のプレーができるようにしたいです。第三クール全勝して、優勝したいと思います。応援よろしく願います。



背番号 13 DF
山科 花恵選手！！

チームのみんなでリーグ優勝という目標に向かって毎日をととても幸せに思います。必ずみんなでその目標を達成します！

